

# 公益信託世田谷まちづくりファンド

## 第29回助成事業 審査講評

### つながりラボ部門

#### < 7-1 一般社団法人CO-SAKU谷 >

- ・近所にこんなラボがあったら楽しくていいなと思える、ワクワクするプロジェクトです。申請書（事業計画と予算計画）は大変詳細にかつ分かりやすく書かれており、コロナ禍の対応方針も妥当なもので、実効性が高いだろうと評価されました。本プロジェクトへの参加がきっかけで、子どもたちと親世代の創造性、すべての物事に対する自発性が高まっていくことを期待します。

#### < 7-2 一般社団法人おやまちプロジェクト >

- ・おやまちプロジェクトを中心に尾山台周辺地域の学校・商店街・大学が集まり、連携し、数多くの企画が生まれてきました。今回の申請内容は、皆が集まる拠点をさらに居心地の良い空間に生まれ変わらせるためのもので、新企画の創出と活性化につながることを期待します。既存の企画は、大学生などの20代、高い年齢層でも40代後半が主なメンバーになるとは思いますが、今後は60代以降になると思われる高齢世代（商店会店主層）の主体的な参加を呼びかける工夫も考えていただければ幸いです。

#### < 7-3 みんなボラ 世田谷 >

- ・コロナ禍において、社会的に弱い立場にある人がより困窮や困難さを抱えているようになっています。一方で、困っている人ほど、自ら支援を受けるべくアクションを起こすことが難しいとも言われています。その場所に行けば何かできるかも、誰かと繋がれるかも、と思える場所を街中に作り、ふらっと立ち寄れるようにするということは大変重要だと思います。

そのためにも自らあげられている認知度の低さや活動基盤の弱さという課題を、これまでの人的ネットワークを基盤にどのように克服して行

くのか、その解決手段としてあげられている「情報発信」内容・頻度・媒体・進め方をより具体的に考えて進められると良いと思います。

#### < 7-5 らくらくハウス >

- ・子どもたちの拠点をベースにした多様な人の出番づくりと、困りごとややりたいことを持ち寄る場づくりには、地域の期待も大きいと思います。新たに購入されたという英断に加え、経験豊富な3人がタッグを組むことで新たな価値の創出に期待しています。そして、すでにある地域共生のいえとの役割分担も楽しみにしています。

#### < 7-6 特定非営利活動法人 コミュニティ・ネットワーク・ウエーブ >

- ・地域で孤立する方がいなくなることを目指した長年の実績に敬意を評します。コロナで必要性が高まる中、今回の応募で外観をリニューアルしたいとのことですが、看板や見た目だけで人が来るようになるとは思えない部分もあります。この場の活かし方として、財政的な問題解決に向けた工夫ができないか、この1年で考えて欲しいところです。